

しちがはま

議会だより

No. 138

平成31年1月15日
宮城県七ヶ浜町議会



100年以上
受け継がれる
(吉田濱獅子舞)

特集 野球場客席全面改修へ	2
指定管理者の指定(アクアリーナ) 議案審議	4
切れ目のない子育て支援を など 7人が一般質問	5
議会報告・懇談会レポート	14

補正予算 野球場客席

平成30年度一般会計補正予算は24億4949万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ106億5202万円としました。補正の主なものは野球場観客席改修工事や震災復興推進事業費の国への返還金などです。



高台移転団地「花洲浜笹山地区」



花洲浜地区災害公営住宅

(完了した国土交通省事業分の一部)



高台移転団地「菖蒲田浜中田地区」



高台移転団地「吉田浜台地区」

問 震災復興事業として完了した事業費の返還なのか。
答 復興推進課長 高台移転住宅団地や災害公営住宅等（国土交通省事業分）の事業が完了したものが主である。

震災復興推進事業費返還金 (23億134万円)

交付申請の時は、用地買上げ面積や利子補給分等限度額いっぱいまで申請していたので返還額が出たものである。

債務負担行為補正

小学校空調設備 整備工事 (2億5410万円)
中学校空調設備 整備工事 (1億890万円)

問 工事限度額の計上なのか。

答 財政課長 整備要項が出ていないため工事の限度額として債務負担行為に計上した。期間は平成30年度から平成31年度までである。

ひとロメモ

債務負担行為とは 歳出予算の金額、継続費の総額または繰越明許費の金額に含まれているものを除き、将来にわたる債務を負担する行為を指す。

お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	東日本大震災復興交付金基金繰入金	23億 134万円
	亦楽小学校プール解体事業債	2700万円
	野球場観客席改修事業債	2340万円
歳出	震災復興推進事業費国へ返還金	23億 134万円
	体育施設費（野球場観客席改修工事に充当）	2600万円
	上水道施設費	5577万円
	障害児施設通所給付費へ追加	1484万円

全面改修へ 12月定例会



改修が決まった野球場観客席



12月定例会を12月5日から6日までの会期で開催しました。町税条例の一部改正や一般会計補正予算など18件の議案等を審議し、17件は原案どおり可決し1件は否決されました。また、一般質問は7人が活発な議論を展開しました。

質疑

野球場観客席改修工事 (2600万円)

問 具体的な工事内容は、生涯学習課長 ベンチの総入れ替えであり、数は約1300人分である。

答 ポールストライクの電光掲示盤修理は含まれているのか。

問 計画はあるが、今回は、ベンチの取り換えのみである。



表示変更が必要

消防自動車置場 工事設計・調査費 (620万円)

問 消防団第七分団（要害）と聞いたが、移転先と完了時期は、総務課長 要害公民分館跡地であり、年度内を見込んでいます。

答 消防団第七分団（要害）と聞いたが、移転先と完了時期は、総務課長 要害公民分館跡地であり、年度内を見込んでいます。



移転が決まったポンプ車置場

急傾斜地崩壊対策 (192万円)

問 場所は松ヶ浜と要害であるが、住民への説明会の予定は、建設課長 仙台土木事務所によると、松ヶ浜地区は12月18日、要害地区は12月20日である。

答 建設課長 仙台土木事務所によると、松ヶ浜地区は12月18日、要害地区は12月20日である。

東日本大震災追悼式 (168万円)

問 本年度も追悼式を予定しているが、開催期日と規模、ならびに一般町民への案内は、総務課長 3月11日に例年通りの規模としている。遺族を中心に招待しているが、残席を利用して案内したい。

答 総務課長 3月11日に例年通りの規模としている。遺族を中心に招待しているが、残席を利用して案内したい。



議案審議

工事変更契約

●平成29年度町道久保線道路改良工事

内容
距離490m、道幅8.5m(歩道2.5m)の区間の路盤強度を高める工事の追加です。

契約先 セケ浜復旧・復興建設工事共同企業体
契約額 9120万円(264万円増額)

採決の結果
反対なく全会一致で可決

指定管理者の指定

●セケ浜健康スポーツセンターの管理者の指定

内容
アクアリーナの指定管理者を継続して指定するものです。

指定先 株式会社グライン・スボール
期間 平成31年4月から平成36年3月まで

採決の結果
反対なく全会一致で可決

条例改正

●職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正

内容
学校教育法の一部改正に伴うものです。

●職員の給与及び任期付職員採用等に関する条例の一部改正

●特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正
●議会議員の報酬等に関する条例の一部改正

内容
人事院勧告および国における法改正に伴うものです。

採決の結果
反対なく全会一致で可決

議員提出議案

●放課後等デイサービス事業の存続を図るための緊急対応を求める意見書

内容
平成30年度障害福祉サービス等報酬改正で多くの事業所の減収や事業の廃止が懸念される。影響を調査し前年度の水準の維持を求めるものです。

討論

反対 佐藤 衛

今回の一般質問で同様な質疑応答があり、利用者への直接影響はなく良好な運営がなされているとの回答であった。本日、急な提案であり、慎重に審査すべきである。

賛成 歌川 渡

報酬改定により多くの事業所の減収や事業所の廃止が懸念されるため前年度の水準の維持を求めるべきである。

採決の結果
反対多数で否決

ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

12月定例会の一般質問は、5日と6日の2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。
内容は質問者の原稿を原文に近い形で6ページから12ページに掲載しています。
なお、タイトルは通告のとおりです。

熊谷 明美 …… 6ページ

- 切れ目のない子育て支援を

安倍 敏彦 …… 7ページ

- 早急にエアコン設置の決断について
- 人口ビジョンについて

仁田 秀和 …… 8ページ

- 人材不足解消のための外国人労働者の受け入れ態勢の確保や雇用拡大策について
- 被災した代々崎浜地区広場や周辺整備について

木村 稔 …… 9ページ

- 非課税世帯への福祉灯油助成について
- 報酬改定された放課後等デイサービスでの本町の利用状況とこれからの課題と取組みについて

渡邊 淳 …… 10ページ

- H31年からはじまる森林環境譲与税の活用の方向性は
- 海岸海域活用協議会を設立し利用面の調整が必要と考えるが町の考えは

歌川 渡 …… 11ページ

- 被災者の町営住宅家賃軽減継続の英断を
- 仙南・仙塩広域水道の「上工下水一体官民連携運営事業」で町民に及ぼす影響について
- 拠点避難所となっている小・中学校体育館にエアコン設置を

遠藤 久和 …… 12ページ

- 学校教育支援センター事業について
- 街路灯のLED化について

12月定例会 提出議案採決結果一覧 (12/5~12/6)



12月定例会では、条例改正や契約関係、補正予算等の議案を審議しました。賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田秀和	木村稔	熊谷明美	佐藤壮	安倍敏彦	佐藤衛	渡邊淳	遠藤久和	鈴木初雄	我妻周悦	佐藤梶信	歌川渡	岡崎正憲	大町睦夫
放課後デイサービス事業の存続を図るための緊急対応を求める意見書	4	2	11	否決	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—

○賛成 ●反対 議長(大町睦夫)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例改正ほか	掲載ページ
○職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正	4
○職員の給与及び任期付職員採用等に関する条例の一部改正	4
○特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正	4
○議会議員の報酬等に関する条例の一部改正	4
○町税条例の一部改正	—
○セケ浜健康スポーツセンターの指定管理者指定	4

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負変更契約「平成29年度町道久保線道路改良工事」	4
○セケ浜健康スポーツセンターの指定管理者指定	4

補正予算	掲載ページ
○平成30年度一般会計補正予算(第5号、6号)	2
○平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第1号、第2号)	—
○平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号、第3号)	—
○平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号、第3号)	—
○平成30年度水道事業会計補正予算(第2号、3号)	—

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載されている資料を配布しています。



あけみ 明美
くまが い 谷 熊

切れ目のない子育て支援を

町長 関係機関が連携し支援している

問 安心して子どもを産み育てる環境を作ることは、子育て世代の定住化や人口減少の歯止めの一助になり魅力ある町づくりにもつながる。

答 子育て支援に関わる保健師の活動内容は、**町長** 母子手帳交付に始まり妊婦や乳幼児の健康診査等や啓発、未熟児訪問など、さまざまな活動をしている。

問 切れ目のない子育て支援の充実を図るため、専門的知識のある母子保健コーディネーターを配置する考えはないか。

答 同様の役割を保健師が担っており、妊娠初期から産後にかけての相談などに対応している。現時点での配置予定はないが、今後の状況次第で検討する必要がある。

問 他市の市町は子育て世代支援センターを設置しネウボラを推進している。本町の今後のプランは。

答 健康増進課長 設置は国の努力目標である。将来的にその形がとれればと考えている。

問 マタニティブルーや産後うつ、核家族化による地域社会からの孤立や育児に不安を抱える子育て家庭も多くなっている。相談室の設置は考えているか。

答 相談室の設置は考えているが、健康相談を毎月実施しており、好評である。気軽に利用して欲しい。

問 乳幼児への関わり方や子育ての方法は昔と大分変わってきている。育児を手伝う祖父母のサポートとして、変化する育児の常識や基礎知識を解説するなど充実した内容の「祖父母手帳」を配布する考えはないか。

答 地域福祉課長 祖父母に限らず親世代を含めたガイドブックのようなものを考える。

問 育児サポートの講習会の開催は。

答 町長 子育てに関する正しい知識を身に付ける研修を検討する。

問 子育て世代への経済的負担を軽減するため、紙おむつなどの必需品の配布や助成を考えたか。

答 子ども医療費助成や児童手当など経済的支援を行っており、おむつの配布は考えてない。

問 子育て世代への経済的負担を軽減するため、紙おむつなどの必需品の配布や助成を考えたか。

答 子ども医療費助成や児童手当など経済的支援を行っており、おむつの配布は考えてない。



あんべ としひこ 安 倍 敏 彦

早急にエアコン設置の決断を 教育長 すでに決断している

問 国会では、全国の公立小中学校のエアコン設置が議論されている。また、文部科学省は熱中症対策として空調設置費用を要求している。

答 9月の一般質問では、設置する方向で準備を進めているとの回答があった。どのような優先順位で設置するのか、今後の具体的な計画と決断は。

答 教育長 町としては、エアコン設置の決断はしている。9月の補正予算決議後に調査設計を委託契約し、各学校の調査を進めている。設置の優先順位は普通教室から、特別教室や小学校別の優先順位は調査中である。今後の見通しは、発注および契約をできるだけ早く行い、児童生徒の健康を守るため早期完了を目指す。ほぼ全国同時進行する事業なので、5校

問 エアコン設置費用の債務負担行為枠として、小学校3校で2億5410万円、中学校2校で1億890万円を計上しているが、普通教室も含めた教室の数は。

答 教育総務課長 教室全体では136教室。普通教室や職員室、校長室を含めている。

問 エアコン仕様は電気なのか、ガスなのか、町はどれを導入するのか。

答 あくまでも調査中である。各学校には都市ガスを引いてないので、ガスを除いて協議が進んでいる。

問 エアコン設置費用の債務負担行為枠として、小学校3校で2億5410万円、中学校2校で1億890万円を計上しているが、普通教室も含めた教室の数は。

答 教育総務課長 教室全体では136教室。普通教室や職員室、校長室を含めている。

問 エアコン仕様は電気なのか、ガスなのか、町はどれを導入するのか。

答 あくまでも調査中である。各学校には都市ガスを引いてないので、ガスを除いて協議が進んでいる。

問 エアコン仕様が電気なのか、ガスなのか、町はどれを導入するのか。

答 あくまでも調査中である。各学校には都市ガスを引いてないので、ガスを除いて協議が進んでいる。

問 エアコン仕様が電気なのか、ガスなのか、町はどれを導入するのか。

答 あくまでも調査中である。各学校には都市ガスを引いてないので、ガスを除いて協議が進んでいる。

ひとロメモ
ネウボラとは
子育て支援拠点のことであり、助言する場所や相談する場所である。



ひとつの窓口で子育て支援を



特別室にもエアコンが欲しい

※その他にもこんな質問を頂きました
「人口ビジョンについて」

非課税世帯への 福祉灯油助成を

町長 燃料の高騰状況を注視したい



きむら のる
木村 稔

問 19年度と27年度の助成執行額はそれぞれどのくらいだったのか。

答 19年度は284万7500円、27年度は176万円である。

問 19年度と27年度の灯油価格は、

答 地域福祉課長 11月上旬の18ℓの店頭価格は、19年度が1538円、27年度は1270円である。

問 本町では平成19年度と平成27年度に燃料助成利用券を発行していたようだが、その経緯は、

答 町長 平成19年度では、原油価格の急激な高騰、平成27年度は、低所得者の経済的負担軽減のため燃料費助成を行った。

問 本町で福祉灯油助成を行った結果、目的に対し、効果はどうだったのか。

答 町長 経済的負担を軽減し低所得者に対する燃料助成として一定の効果があった。

問 燃料助成利用券は、特に灯油の配送サービスを利用している一人暮らしの非課税世帯では

答 地域福祉課長 アンケートは行っていないが、受給率が95・5%であることから満足されたと考えている。

問 昨年、灯油価格より今年、高くなっている。今シーズン注文配達の暫定価格（事業者調べ）では、18ℓ1926円にもなる。そのような状況を考えると、前例がある灯油の購入助成は検討すべきだと考えるが本町の考えは、

答 町長 1つの町だけでなく、国の交付金や県の補助金の制度があり初めてアクションが起せるものである。



に っ た ひ で か ず
仁 田 秀 和

外国人労働者 受け入れの考えは

町長 国会の審議を見守っていききたい

問 政府は、深刻な人手不足に対応し外国人労働者受け入れ拡大のために、新たな在留資格を創設する入管難民法（出入国管理及び難民認定法）などの改正案を閣議決定した。これまで認められていなかった単純労働分野への就労が可能になるというもので、4月の施行を目指している。メリットやデメリットなど、町民の不安を解消するための対策や町内の企業が外国人雇用を有効に活用できるように対策を示さなければならぬと考えるが、

答 町長 今後、人口減少とともに労働力が不足し、やがて事業所が廃業に至るケースも見られるようになるのではと危惧している。不足している労働力を外国人に求めることはできるが、言葉や文化の違いなどもあり、必ずしも問題の解決には繋がらないのではないかと懸念している。外国人労働者の受け入れの是非は今後の国会の審議を見守っていききたい。

問 昨年度に「介護」が外国人技能実習制度に加えられた。本町の今後の高齢者福祉・介護保険事業計画への導入方針も含めた受け入れ態勢や支援策の考えは、

答 計画への反映は、2021年からの次期計画の策定で、今後の国の指針等に基づき対応していきたいと考えている。受け入れ態勢は、事業者からの相談等に適切に対処できるように情報を収集していきたい。



代ヶ崎浜地区広場の 整備は

町長 平成31年度に整備予定

問 東日本大震災の津波により被災した代ヶ崎浜地区広場の周辺地域は復旧・復興が進み、現在居住環境の再整備や土地区画整理事業が進んでいる。今後の広場整備は、

答 町長 地区広場整備事業と公園整備事業で構成している。面積は約1ヘクタールで、地元地区と意見調整しながら設計業務を進めていきたい。また、平成31年度での整備予定である。

問 現在、代ヶ崎浜地区の沿岸には釣りで多くの人が訪れている。交流人口の増加に向けて、環境整備や交通安全対策として駐車場を整備する考えはないか。

答 環境生活課長 不法投棄に関して、より効果が期待できる監視カメラの設置を、来年度の実施に向け計画している。また、相談や要望がある地区へ貸出できるように現在準備を進めている。現在は、条例の改正は考えていない。

問 灯油価格の変動で冬期間の生活に影響を及ぼす非課税世帯等に、灯油代の一部を助成する考えはないか。

答 現時点では燃料費助成の考えはないが国・県による補助金交付等の動向を注視していく。



灯油は冬の必需品

問 今年の灯油価格は、19年度の価格をさらに上回っている。地方公共団体の存在理由である地域住民の福祉増進を考えると、検討すべしというところは整合性にかけるものではないか。

答 今後の燃料の高騰状況を注視したい。

※その他にもこんな質問をしました。
「報酬改定された放課後等デイサービスでの本町の利用者として、これからの課題と取組みについて」



わたなべ あつし
渡 邊

森林環境譲与税

活用の方向性は

基金に積み立て 時間をかけて検討

町長

基金に積み立て
時間をかけて検討

問 平成30年度税制改正

の大綱において森林環境譲与税の創設が決まり、各自自治体に平成31年度から譲与開始される。この譲与税は個人所有の森林に対し使われる。林業経営に適さない林は町が経営管理する。林業のない本町には理解しづらいところもあるが、森林は地球温暖化防止や生物多様性の保全、林産物供給など多面的機能をもっており、整備された森林は「緑の社会資本」と称し価値の高いものである。町内の民有地森林には自然公園法等の縛りがあり手続きには苦労が予想される。事前の緩和策を協議しておく必要があると思うが方向性は。

答 町長 本町には林業経営に適した森林はなく、林業経営が前提の今回の森林管理システムは本町にそぐわず運用を

見送ることにする。

森林環境譲与税は町が行う間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進、普及啓発の森林整備に関する費用に当てることになる。林業経営に適した森林がない中でこの譲与金の支出に関し時間をかけて検討する必要がある。ひとまず基金に積み立てる。本町の民有地森林には自然公園法等の縛りがあり一定の手続きが必要だが、森林管理システムを見送るため緩和策の協議はしない。

問 譲与金を使う場合は公開義務がある。どのようなデータで効果を説明するのか。

答 産業課長 近隣の市と県を交えて情報交換をしている。県からはまだ示されていないが、協議しながら実施していく。

問 本町にある森林の大きさを理解してもらいたい。県から示されるまま実施していくのが町の考えか。

答 町長 なおざりにはしていない。県で林地台帳を作っている。それをベースに状況を見ていく。

問 特用林産物（きのこ等）の開発や木質バイオマスボイラーへの利用など、職員からの町独自の発想を創出させる考えはないか。

答 職員には常にさまざまなアイデアの創出や新たな発想、チャレンジの重要性の話をしている。利用も含め町に役立つ発想ができるか柔軟に促して調べていきたい。

海面の節度ある運営を

民間で

町長

民間協力も

問 町内の海岸や海域の利用に際し、見ている側も利用者同士も緊張する場面もある。今後、海岸施設が充実してくる中で地域での利用ルールが必要と思われる。海域活用協議会等の調整団体を設立し、今後予想される特定エリアでの節度ある運営がされるよう促す考えはないか。

答 町長 海岸付近を利用するスポーツが盛んになってきている。海面利用の調整をする公共団体は見当たらない。民間が調整や自主規制ができるのであれば、今後、利用者団体に状況を聞き取ってみたい。



うたがわ たる
歌 川

町営住宅家賃 軽減継続の英断を 町長 判断時期はもう少し先

問 11月末まで住宅家賃軽減に関わる近隣市町担当者会議が4回開かれた。各回での確認や到達事項はあるのか。

答 町長 県内市町の家賃軽減に係る情報の共有や意見交換で、確認や到達事項などはない。

問 12月の近隣市町担当者会議での話し合いの結果と本町の考えは。

答 情報共有や意見交換である。継続の判断時期はもう少し先になる。

問 葛浦田浜林合町営住宅入居者団体から家賃軽減継続の要望書が出されたが、入居者の思いをどう受けとめたのか。

答 町長 葛浦田浜林合町営住宅は、上下水一体官民連携運営事業として民間企業の運営で、水道水の安全は確保されるのか。町長 県企業局で作成している「新・水道ビジョン」では、水道水の安全性の確保を施策目的の一番に掲げており、確保されると説明を受けている。

問 水道料金値上げのリスクはないのか。
答 企業努力によるコスト削減で、供給料金

上下水一体事業の

町民に及ぼす影響は

町長

持続可能な事業運営と理解

問 上下水一体官民連携運営事業として民間企業の運営で、水道水の安全は確保されるのか。

答 町長 県企業局で作成している「新・水道ビジョン」では、水道水の安全性の確保を施策目的の一番に掲げており、確保されると説明を受けている。



災害公営住宅(葛浦田浜)

問 要望書の内容は、入居から3年が経過し、政令月収15万8千円を超える入居世帯の割増料の減免に係るものであった。今後、収入超過となる世帯の状況や近隣市町の対応を参考に検討したい。

答 要望書の内容は、入居から3年が経過し、政令月収15万8千円を超える入居世帯の割増料の減免に係るものであった。今後、収入超過となる世帯の状況や近隣市町の対応を参考に検討したい。

問 拠点避難所である小・中学校体育館にエアコンを設置は考えていない

答 教育長 「学校施設環境改善交付金」と11月に創設された「臨時特例交付金」がある。今回の学校空調設備整備は児童生徒の通常の学校生活をメインとする整備で、体育館への設置は考えていない。

問 体育館への設置に係る調査費用等を講ずる考えはないか。

答 臨時特例交付金での要望はしていないこともあり、現段階では調査費用等を講ずる考えはない。

問 同事業は町民の暮らしに影響があることから、住民に十分な説明の機会を作るよう県に求める考えはないか。さらに、町としての周知はどのように考えているのか。

答 県は県民の理解を得ることを目的に「水道の未来を考える」等のシンポジウムの開催で情報発信をしている。現時点で県に説明を求める考えはない。町独自の周知も考えていない。

町民の声

- 遠山保育所のステンレス外壁が眩しいという苦情が出ている。どうしたらいいのか。
- 遠山保育所の建設設計に当たってどうして気づかなかったのか。あまりにも保育所としてひどすぎる。アクアリーナも同様。今後、利用する人の目線で建設してほしい。
- 期日前投票者が多くなっているのので、選挙投票所の閉所時間を短縮できないか。

こうして欲しい 意見・要望

ここはどなの 質疑・応答

防犯灯のLED化3年計画は

問 地区の財政状況もあるため、早急に詳細な計画を説明してほしい。

答 平成31年度より一部助成できるかを検討中ですが、また3年計画でしたが、各地区の進捗状況により5年に変更する予定です。なるべく早く、各地区に説明したいと考えております。(12月定例会の一般質問答弁から)

町内に防犯カメラの設置を

問 防犯対策や非行防止のためにも、主要な交差点および商店街に防犯カメラを設置してほしい。

答 個人情報保護や条例改正が必要と思われるので、簡単には設置できないようである。しかし、防犯対策としての必要性があり町執行部に提案したい。



今回は平日の夜間にも議会報告・懇談会を開催しました(写真は日中に開催した亦楽地区)

- 敬老会の参加者が少ないので工夫が必要ではないか。記念品配りが大変である。参加できる良い交通手段を考えてほしい。
- ヘルプマークは個人で直接取りに行くより、民生委員が配布したほうが良いのではないか。
- 海水浴場の有料駐車場は、町民に無料にすべきである。
- 町内にもパークゴルフ人口が多くなっている。パークゴルフ場を建設してほしい。
- 要害港湾施設の外灯の基が消えている。危険なので点灯するようお願いしたい。
- 笹山地区内に住居表示板を設置してほしい。また、誘導板標識(東原入口・小豆浜入口・君ヶ岡入口)を設置してほしい。
- ブロック塀の調査をしたが場所を周知してほしい。

体育館にエアコン設置を

問 体育館は災害時における避難所でありエアコンの設置は必要である。また、動力だけでなく熱効率も考え、断熱材や遮熱材による改修を考えたらどうか。

答 国からの厳しい補助率であり、児童生徒の普通教室を最優先に考えており、現段階では体育館への設置は考えていない。(12月定例会の一般質問答弁から)

汐見台南に投票所の増設を

問 汐見台南の住民は投票所が汐見台第2分館である。投票所まで遠いので南地区に新たに設置してほしい。

答 以前にも要望等がありましたので選挙管理委員会事務局へ伝えたい。



遊具を設置してほしい

● 花洲浜割山の公園に遊具を設置してほしい。また、塚田の消防ポンプ場前の空き地にグラウンドゴルフ場を設置してほしい。



道幅が狭く危険なので歩道を設置してほしい

● 汐見台郵便局前から貞山橋までの県道に歩道を設置してほしい。

議会へ

問 毎年議会報告会を開催しているが、町当局に届いているのか。

答 町当局には、議長名で内容を情報提供しています。また、議会だよりにも掲載しており、各地区の区長にも配布しております。

問 議会だよりの2ページの収入の円グラフに「借金」の表記はなじまないと思うが。

答 町債(町で借りるお金)のような表記で検討します。

問 町の広報と議会だよりの内容(数字等)が違っているのを統一したらどうか。

答 千円単位で四捨五入しておりますので一部違いが出ます。今後、確認等で注意します。

問 遠山保育所および七ヶ浜中学校は、デザイン重視で機能的でない。議会もチェックしてほしい。

答 計画段階から議会が関われるよう常任委員会等で研究したい。

問 通年議会を評価するので、早く実施してほしい。また、議会基本条例も実施してほしい。

答 町民のための通年議会であり実施の方向で検討しております。また、議会基本条例は今後の課題と考えております。

クイズ？

<3択から選んでね>

問1 今回、国へ返還された復興交付金はいくらでしょうか。

- ①約2億円 ②約2.3億円 ③約3.2億円

問2 今回、アクアリーナの指定管理者が更新されました。指定期間は何年間でしょうか。

- ①3年間 ②4年間 ③5年間

問3 野球場改修工事の内容は。

- ①照明器具 ②スコアボード ③ベンチ

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、
議会へのご意見を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577 七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成31年2月28日(当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ③ 問3 ③

当選者：遠藤澄子さん、星知予子さん
尾川光子さん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は3月開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

表紙に寄せて

今回の表紙は、毎月第4日曜日に行われている吉田濱獅子舞保存会の練習風景の1コマです。表紙写真は昨年11月のものです。保存会会長の阿部慎也さんにインタビューをしました。



あべ しんや
阿部 慎也さん
(吉田浜)



昭和61年4月に町民体育館
で行われた100年祭

Q 入会したきっかけは。

A 地元先輩から誘いがあり入会しました。

Q メンバー構成は。

A 現在は、吉田浜地区外や町外在住も含めて約30人で活動しています。

Q 活動していてやりがいを感じる時は。

A 伝統を守りながら町や地区の活性化など役に立てればいいと思います。

Q 町や議会への要望は。

A 国際交流や町内のPRなど多く広げていきたいので、積極的な活動の機会をさらに設けてもらいたい。

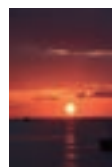
Q 今後の抱負は。

A 若い世代の子にたくさん参加してもらえるように、伝統を守りながら、今後も魅力ある吉田濱獅子舞保存会として活動していきたい。

～吉田濱獅子舞～(七ヶ浜町無形文化財)

起源は不祥ですが、明治初期頃に地元漁民が石巻渡波方面から移入したと思われます。海の安全と大漁、帰りを待つ家族の健康を祈る気持が掛け声に込められています。

編集後記



◆今年も平成最後の正月となりました。皆さんの記憶にはどんな平成時代が浮かびますか。多くの方は、あの東日本大震災が記憶にまだ新しいと思います。震災から7年10カ月が経過し、皆さんのご尽力により復興は進んでいるという事が、決算にも表れてきております。しかし、心の復興はまだまだこれからです。皆さんの笑顔が完全に戻るように微力ながら頑張つてまいりたいと思います。

◆今後も、読みやすく親しんでいただける「議会だより」になりますよう、委員一丸となり編集に取り組んでまいります。

仁田 秀和

広報広聴常任委員会

委員長 岡崎 正憲

副委員長 佐藤 衛

広報分科会 仁田 秀和

木村 秀和

熊谷 明美

佐藤 壮一

遠藤 久和

発行責任者 大町 睦夫

議長